



<研究主題> 一人一人が学んだことを実感し、自分から行動する姿を目指して
～各教科等の指導を支える自立活動の視点から～

今年度の研究もまとめの時期になりました。第6号から第8号は、全校授業研究会について今一度振り返ります。公開研、全校研での改善点を活かした授業づくりに今後も取り組んでいきたいと思ひます。

協議テーマ

- ・ 目指す姿が授業の中でどのように表れていたか
【一人一人（特に抽出生徒）が学んだことを実感し、自分で考え、判断して行動する姿】
- ・ そのための手立て（学習活動、場の設定、教師の働き掛け）はどうだったか

★単元名★

高等部2年 生活単元学習 「地域勝手に応援団 part3 ～地域の魅力を京都へ発信～」

★公開研を受けて意識した点

- ・ 話し合うポイント（視点）の明示

各グループの発表がよりよくなるために発表がどうであったかを判断したり、考えたりしやすいよう「リモート発表のポイント」について3つの視点（「話し方」、「聞き方」、「見やすさ」）を提示した。ポイントを示したメモ用紙を使用し、グループの発表を評価することで、ポイントに沿って具体的な意見を考えることにつながった。

- ・ 人的環境、グルーピングの工夫

抽出生徒の良さを発揮したり、課題解決したりする姿につながるよう、グループのメンバー構成を工夫した。抽出生徒は、グループリーダーを務める生徒との意見交換により、相手の考えを受け入れ、次の目標を考える姿が見られた。また、グループ内で役割分担し、生徒同士が協力し合い主体的に進める姿につながった。



★協議から★

- ・ 目標の整理と統一、情報の整理

本時は何を目指すのか、頑張るのかを絞りシンプルにすることで、生徒たちは目標が分かりレベルアップにつながる。見通しをもちやすいが、板書等の情報量が多い。今必要な情報を簡潔に伝える。

- ・ リモートを生かして、目指す姿の共有

リアルタイムで意見交換し、評価することで、具体的な改善場面や相手側の反応がどうか等伝わりやすい。生徒同士のやり取りも増やしたい。リモート像、よりよい発表のイメージを全体で共有する。



<指導助言> 秋田県総合教育センター 指導主事 北島 英樹 氏

「目指す姿」にせまる授業づくり～自立活動に基づく3つの視点から～

- ・ 良さを生かし、課題にせまる工夫に「子ども理解シート」を活用する。自ら解決に取り組もうという意欲を喚起する。
- ・ 生徒の思いや願いを授業に反映。生徒の姿勢や気持ちに寄り添った授業作り。今学んでいることが将来につながるという意識、苦手なことでも頑張りたいという気持ち、内発的動機付けが研究テーマに迫れるかのポイントになる。今と将来がつながるシートの書き方も必要。
- ・ 課題をより明確にするための3つの視点～「適時性」「必要性」「実現性」～をもって、個別の支援計画、個別の指導計画、子ども理解シートの検討を重ねてほしい。

今後の授業づくりに向けて

- ・ 自分から取り組むことができるような新たな役割や活動内容を設定
- ・ 意見の共有、生徒同士での意見交換



他グループからの意見をもとに改善案の話合い